

2012 年 7 月 31 日

デルタ航空、福岡ーホノルル、名古屋ーホノルル間ノンストップ便を増便

好調な市場ニーズを背景に、冬期シーズンに向けてデイリー化を決定

【福岡、名古屋、2012 年 7 月 31 日】ー デルタ航空(NYSE: DAL)は、福岡ーホノルル線および名古屋ーホノルル線を増便し、冬期期間(10 月～3 月)中、毎日運航します。詳細は以下のとおりです。

福岡ーホノルル

福岡ーホノルル直行便は、2011 年 12 月に季節運航便として就航以来、好調な市場ニーズに支えられ、ゴールデンウィークや 6 月の追加運航、夏季繁忙期のデイリー化など、増便を重ねてきました。このたび 9 月末以降の継続運航が決定し、通年運航となります。

また、福岡での運航拡大に伴い、営業担当者が常駐する福岡営業事務所を開設しました。これにより、旅行会社やパートナーとのより緊密かつタイムリーな連携が可能となりました。

便名	出発	到着	機材	運航頻度
DL598	福岡発 7:55p.m.	ホノルル着 8:45 a.m.	B767-300ER	毎日*
DL599	ホノルル発 12:05 p.m.	福岡着 5:55 p.m. (翌日)	B767-300ER	毎日*

*9 月末から 10 月末の期間中、機材繰り等の理由から 10 日間の特別運休日が設けられています。詳しい運航スケジュールはデルタ航空ウェブサイトおよび旅行会社にてご確認ください。

名古屋ーホノルル

名古屋ーホノルル直行便は、冬期は週 6 日の運航予定でしたが、堅調な市場ニーズに応じるため、デイリー運航を継続することを決定しました。

便名	出発	到着	機材	運航頻度
DL612	名古屋発 9:35p.m.	ホノルル着 9:55 a.m.	B767-300ER**	毎日
DL611	ホノルル発 2:40 p.m.	名古屋着 7:40 p.m. (翌日)	B767-300ER**	毎日

**名古屋ーホノルル便は 10 月 1 日から 27 日の間、全 298 座席のエアバス 330 型機での運航となり、10 月 28 日から 209 席のボーイング 767 での運航に戻ります。

デルタ航空日本地区営業本部長、伊藤正彰は次のように述べています。「福岡・九州地区および名古屋・中部地区のお客様からのご愛顧、旅行会社はじめパートナーの皆様の多大なるご支援により、両地域でのホノルル線の運航を拡大することができました。福岡では営業事務所を開設し、より迅速かつ、きめ細やかな営業活動ができるようになりました。専任を置いた営業事務所の開設は、当社の福岡ーホノルル線にかける強い意気込みの表れといえます。」

デルタ航空は、米国航空会社の中で最多の日本発着便を運航しています。ハワイのホノルルへは、成田空港、関西国際空港、名古屋セントレア、福岡空港からノンストップ直行便を運航しています。また、成田空港をアジア地域のハブ空港と位置付け、米国本土 8 都市、ハワイ、グアム、サイパン、パラオのリゾート 4 都市、アジア 8 都市に向けて直行便を運航しています。また、羽田空港、関西国際空港、中部国際空港セントレアからも毎日直行便を運航しています。

* 当リリース内の運航計画については、政府の認可を前提としています。

＜報道関係者お問い合わせ先＞
デルタ航空太平洋地区広報部
e-mail: corpcommjapan@delta.com